

- ◆企画名 2015年度入試誘導
日 程 平成27年2月1日(日)～2月8日(日)
場 所 関西大学千里山キャンパス
参加者数 14名(ピア・サポータ12名、研修生2名)
目 的

4月から関西大学の仲間(peer)になるであろう受験生に対し、誘導活動を行うことで、新1回生へのピア・コミュニティの普及とピア・サポート活動の精神の涵養を目的とする。
また、他のコミュニティのサポータと一緒に誘導活動を行うことで、サポータ同士の交流を促進し、今後の活動に活かしていく。

内 容

主な活動内容としては、午前には受験生に受験票を確認しながら移動してもらうように繰り返し呼びかけたり、それぞれの校舎の場所をアナウンスしたり、受験票を見ながら立ち止まっている方を見かけたら積極的に声をかけ、丁寧に案内したりすることであった。午後は関大前駅への方向を示すプラカードを持って受験生を経路通りに誘導した。

効 果

関大生の一員として教職員や他団体の学生と一緒に受験生のサポートを行うことができたので良かった。昨年度より誘導の回数が増えたが、大きなトラブルもなく終えることができたので良かった。その要因として、毎日ほぼ同じメンバーで誘導に参加したことが挙げられる。そのため、スムーズに誘導を行うことが出来たと思われる。また、誘導を行う前にその都度情報共有を行ったことも良かった。そして、今回から事前に資料を配って説明を行い、予め資料を読んでもらってから誘導を行ったので、誘導当日に慌てることなく活動を行えた。

また、今回は各配置に複数のピア・サポータを配置した。活動中はそれぞれサポータ同士の交流も行えたと思われるので、今後の活動に活かして欲しい。

改 善 点

- ・今回初めて事前説明を行ったが、業務の注意点に関する説明がほとんどであったため、誘導当日の活動内容については、あまり説明できていなかった。そのため、実際の誘導内容について詳細な説明が必要であったと思われる。
- ・受験生に対して入構車両に関する注意喚起がほとんどなかったため、受験生と車両が接触する恐れがあった。そのため、メガホン等を使って積極的にアナウンスを行う必要があると思われる。
- ・一部のサポータはメガホンを使って誘導を行ったが、近くでメガホンを使っている他団体の方と呼びかけのアナウンスが被り聞き取れない場面があったため、受験生に配慮しながら使用するべきだと思われる。
- ・今回は他コミュニティからの参加者が去年と比べて少なかった。そのため、ピア・コミュニティ全体に対して依頼がくるものであり、ピア全体の企画であることを強調しながら広報を行い、参加者を集めていきたい。他コミュニティからの参加者が増えることにより、運営本部の参加者の負担も軽減されると思われる。また、そうすることによって、誘導の日程を増やすことが可能だと思われる。

感 想

昨年度よりも多く誘導を行ったが、大きな問題もなく終えられたことはとても良かった。誘導初日をどのように人員配置すればいいのか迷ったが、各サポータの協力もあり最終的には上手く人員を配置することができたと思う。朝早くから夕方まで一日中の活動であったが、参加者一人一人がピア・サポータとして誘導を行っていたと思われる。来年度も今年度の反省点や改善点を活かして、今年度よりも多く入試誘導を行ってほしいと思う。